

温度調節電気ケトル

SK-D171



取扱説明書 保証書つき

このたびは、シロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
使用上のお願い	7
使いかた	8
お手入れ	12
よくあるご質問	14
エラー表示について	16
仕様	17
アフターサービス	18
お客様相談窓口	19
保証書	20

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明

 **警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

ケトルや電源プレートを水に入れたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。接続部は絶対にぬらさないでください。



接触禁止

加熱中、加熱後、保温中はケトルの本体や注ぎ口、蒸気口に触れたり、手や顔を近づけない

やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

満水目盛(MAX 0.8L)より多くの水を入れない

お湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

ケトル接続部や電源プレート接続部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない

火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

使用中は移動させない

お湯が流れ出たり、蒸気が噴出し、やけど・けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

水以外のものを入れたり、加熱しない また、湯沸かし以外の用途では使用しない

お茶の葉、ティーバッグ、牛乳、スープ、インスタント食品、レトルト食品など水以外のものを入れないでください。ふきこぼれてやけど・けがの原因になります。また故障や焦げつき、汚れの原因になります。



禁止

屋外で使用しない

必ず屋内で使用してください。雨水のかかる場所で使用すると、漏電・感電の原因になります。

 **警告**

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない
感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない
電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
やけど・感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

他の製品やコンセント、電源プラグに蒸気をあてない
火災・感電・発火の原因になります。スライド式テーブルでは、電源プラグに蒸気があたらない位置で使用してください。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、電源コードを引っかかないように注意する
ケトルや電源プレートが落下したり、お湯がこぼれたりして、やけど・けがの原因になります。



警告

使用上の注意事項



ふたは確実に取り付ける

加熱中に蒸気が漏れたり、注ぐときにお湯がこぼれて、やけどの原因になります。



禁止

ふたを持ってケトルを持ち運ばない

蒸気や高温部に触れたり、お湯がこぼれてやけどの原因になります。

●持ち運ぶときは必ず取っ手を持ってください。



禁止

加熱中や加熱後のケトルを熱に弱い敷物の上に置かない

溶けたり、変色・変形の原因になります。



禁止

注ぎ口をふきんなどでふさがない

お湯がふきこぼれて、やけど・けがの原因になります。



禁止

ケトルを傾けたり、ゆすったり、転倒させたりしない

お湯が流れ出て、やけど・けがの原因になります。



禁止

氷や冷水を入れて保冷用に使用しない

結露が発生し、感電・故障の原因になります。



禁止

電源プレートにケトルをのせたまま持ち運ばない

お湯がこぼれて、やけど・けがの原因になります。



禁止

ふたを外して加熱や保温をしない

加熱が正常にできなったり、お湯のふきこぼれ、飛び散り、蒸気に触れてやけどの原因になります。



禁止

加熱中や保温中はふたを外したり、水をつぎ足したりしない

お湯が飛び散ったり、蒸気に触れてやけどの原因になります。

⚠ 注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上、可燃物の近くでは使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上や近くでは使わないください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂、カーテン など



禁止

壁や家具の近くでは使わない

蒸気や熱で、傷み・変色・変形の原因になります。



禁止

直射日光が当たるところで使用しない

変色の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や湿気の多い場所では使わない

ショート・感電の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上では使わない

感電・漏電・火災の原因になります。



禁止

電気カーペットの上では使わない

発煙・発火の原因になります。

使用上の注意事項



禁止

取っ手にガタつきがある場合は使用しない

けがの原因になります。



禁止

ケトルを落としたり、変形させたりしない

故障の原因になります。



禁止

空だきをしない

変形・変色・故障の原因になります。



禁止

電源プレート、ケトルを他製品で使用しない

また、他製品の電源プレート、ケトルを本製品で使用しない

破損・故障の原因になります。



禁止

市販のタイマー機器を接続して使用しない

故障の原因になります。



水量の最大量と最小量を必ず守る

やけど・けがの原因になります。



禁止

ケトルを直火にかけない

変形・変色の原因になります。



ケトルと電源プレートのあいだに汚れや異物がないか、接続部がぬれていないか確認して電源を入れる

汚れや異物が挟まれたまま使うと、異常発熱し、火災・故障の原因になります。



お手入れは冷えてから行う

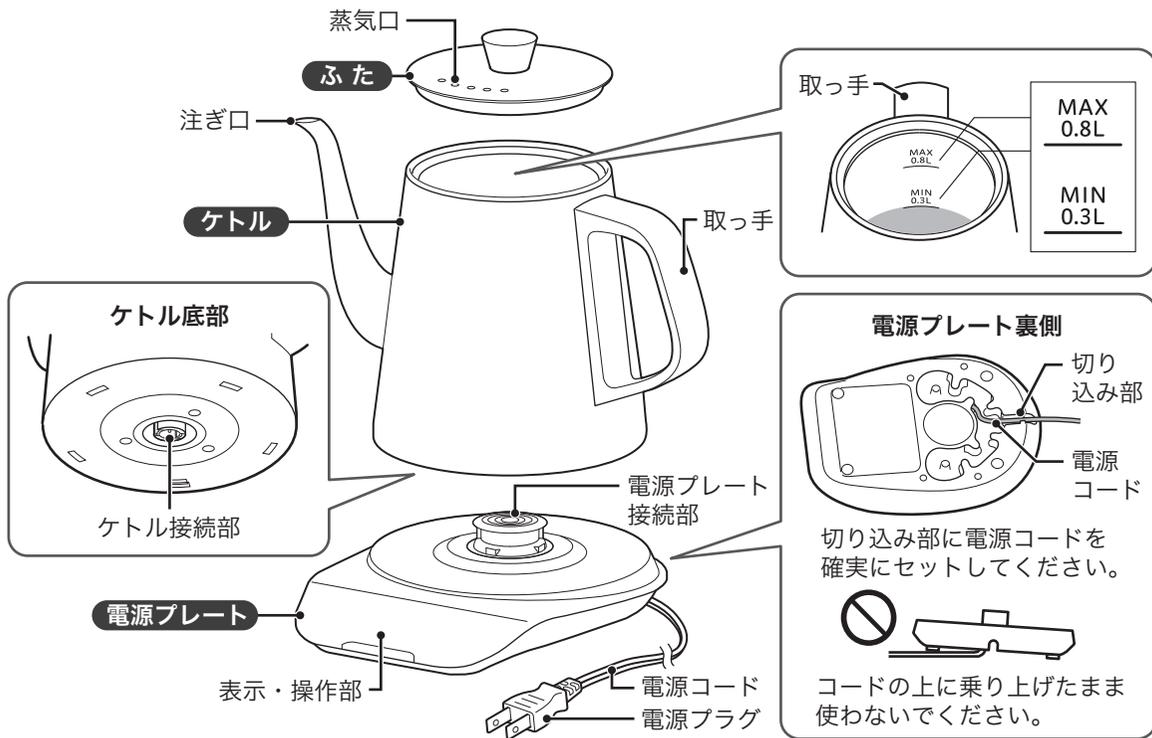
高温部に触れ、やけどの原因になります。



持ち運ぶときやお手入れをするときは、注ぎ口の先端に注意する

注ぎ口の先端は鋭利になっています。けがをしないように注意してください。

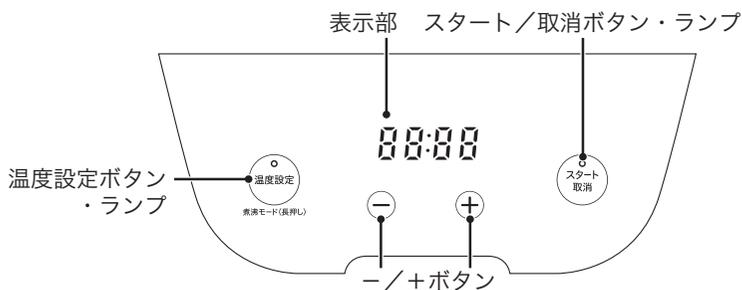
各部のなまえ



表示・操作部

表示部には現在の水温や設定温度、保温時間などが表示されます。操作部は状態により、できることとランプ表示が異なります。

本製品のボタンは、タッチセンサー式です。強く押さずに、指で軽くタッチして操作してください。



次の場合は、ボタンが反応しないことがあります。

- ・素早く押したとき
- ・指やボタンがぬれていたり、汚れているとき
- ・指にばんそうこうや傷テープをしているとき

ボタン	待機中	温度設定中	加熱中	保温中
温度設定ボタン・ランプ	加熱モードで湯を沸かす 長押し：煮沸モードで湯を沸かす ランプ：消灯	登録済み温度を選ぶ 長押し：加熱モードと煮沸モードを切り替える ランプ：点灯	設定温度を確認・変更する ランプ：消灯	設定温度を確認・変更する ランプ：点灯
スタート/取消ボタン・ランプ	沸とうモードで沸とうさせる ランプ：消灯	加熱を開始する ランプ：点滅	加熱を取り消す ランプ：点灯	保温を取り消す ランプ：点灯
-/+ボタン	保温時間を変更する 11ページ	設定温度を1℃単位で設定する	設定温度を確認・変更する	温度表示と残り時間表示を切り替える

| 使用上のお願い

— 知っておいていただきたいこと —

- 表示部の水温と実際の水温のばらつきについて
本製品の測温方式上のばらつきやご使用環境などの条件により、表示部に表示される水温と実際の水温に若干の誤差が生じる場合があります。
- 97℃～100℃で温度設定した場合の保温について
「加熱モード」および「煮沸モード」で温度設定を97℃～100℃にした場合は、96℃前後で保温します。

ご注意

- 本製品はポットと異なり、加熱中や保温中にケトルが熱くなります。加熱中や保温中は《スタート/取消》ランプが点灯してお知らせします。《スタート/取消》ランプ点灯中は取っ手以外に触れないでください。やけどの原因になります。
- 取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

加熱中・保温中
点灯

●
スタート
取消

おしらせ

- 本製品は温度調節をしながら加熱します。温度調節時に断続的に「カチッ」と音がしますが、故障ではありません。

▶ 設置・使用前のご注意

- 火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しない。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにする。(故障の原因)
- ふたの蒸気口が詰まっていないことを確認してから使用する。(けが・やけど・故障の原因)
➔ 「お手入れ」 **12ページ**
- 使用前に、ケトルと電源プレートのあいだにガタつきがないことを確認する。(故障の原因)
- ケトルと電源プレートのあいだに汚れや異物がないか、接続部がぬれていないか確認する。(火災・故障の原因)

▶ 使用中・使用後のご注意

- 加熱中や保温中はふたを外したり、水をつぎ足したりしない。(やけど・けがの原因)
- 空だきをしない。(変色・変形・火災・故障の原因)
- 使用中、注ぎ口をふきんなどでふさがない。(やけど・けがの原因)



- 湯沸かし中・湯沸かしの直後は高温になるため、絶対にふた、ケトルには触らない。蒸気口や注ぎ口に手や顔を近づけない。(やけどの原因)

空だき防止機能について

ケトルが空の状態では加熱を開始すると、事故や故障を防ぐために空だき防止機能が働き、表示部に「E01」が表示され、ブザーが鳴り、加熱を停止します。

ご注意

- 空だき防止機能が働いた場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 空だきをすると、変形・変色・火災・故障の原因になります。

| 使いかた

本製品をはじめてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合はケトルにほこりやごみなどが付着している可能性があります。12ページの「お手入れ」を参照してケトルを洗ってください。

準備する

1

電源プラグをコンセントに差し込む

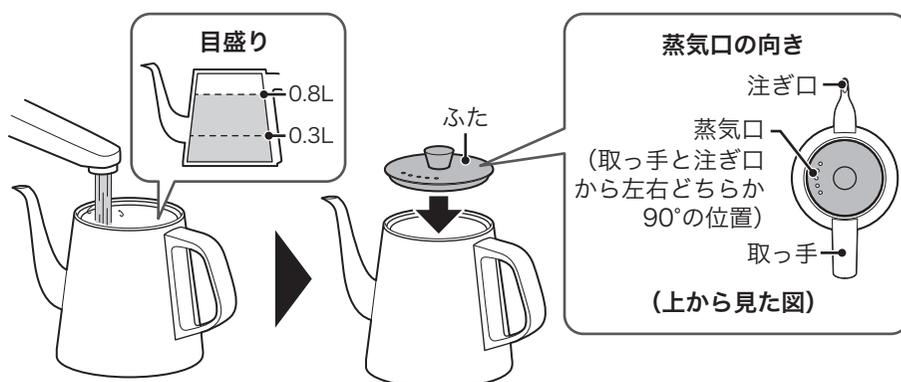
- 表示部が点灯し、現在の水温が表示されます。

ご注意

- 電源プレートを平らな安定したところに置いてください。

2

ケトルに水(0.3L ~ 0.8L)を入れ、ふたを取り付ける



ご注意

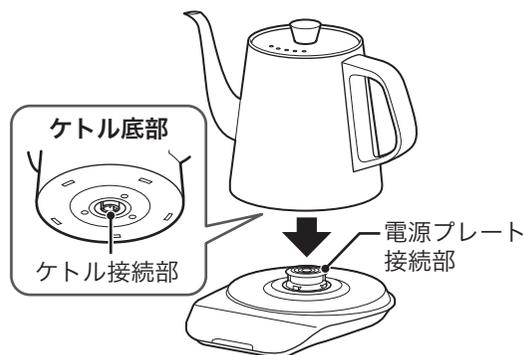
- 満水目盛(MAX 0.8L)より多く水を入れないでください。
お湯がふきこぼれて、やけどの原因になります。
- 水が0.3Lより少ないと、温度が正常に検知できません。
- 電源プレートにケトルをセットしたまま、水を入れたり空だきをしないでください。
- ふたは確実に取り付けてください。また、蒸気口の向きに注意してください。
- まれにケトルの内側にしみが付いている場合がありますが、製造上の磨き工程によるものであり、衛生上問題ありません。気になる場合はクエン酸洗浄を行ってください。➡「ケトル内側の汚れが落ちにくいときは(クエン酸洗浄について)」13ページ

3

ケトルを電源プレートにセットする

ご注意

- 電源プレートとケトルのあいだに異物がないか、接続部やその周囲がぬれていないか確認してください。



機能について

- 本製品には3つの湯沸かし機能があり、沸とうまたは加熱後、自動的に30分間保温します。保温時間は変更することができます。
➔ 「保温時間を変更するには」 **11ページ**
- また、温度調節可能な機能では、登録済み温度から選ぶか、60℃～100℃まで1℃単位で温度を設定することができます。加熱中や保温中も設定温度を変更できます。
登録済み温度…60℃、70℃、80℃、85℃、90℃、95℃

機能	内容	操作の流れ（機能を選ぶ→温度を調節する）		
沸とうモード	温度調節：不可（100℃固定） 水を沸とうさせたあと、保温します。	《スタート/取消》ボタンを押して加熱スタート		
加熱モード	温度調節：可能 設定温度まで加熱、保温します。 （沸とうはさせません。）	《温度設定》 ボタンを押す	登録済み温度から選ぶ 《温度設定》ボタンを押す	《スタート/取消》 ボタンを押して加熱 スタート
煮沸モード	温度調節：可能 水を沸とうさせたあと、設定温度 で保温します。	《温度設定》 ボタンを 長押しする	1℃単位で温度を設定する 《+》《-》ボタンを押す	

▶ 煮沸モードについて

煮沸モードでは、沸とう後、設定温度になるまで時間がかかります。

- 70℃の場合、加熱を開始してから沸とう後、設定温度になるまで→約45分（室温23℃、満水の場合）
- 室温、水量などにより時間が変わることがあります。

水を沸とうさせる（沸とうモード）

沸とうモード：《スタート/取消》ボタンを押す

すぐに加熱が始まります。加熱中は《スタート/取消》ランプが点灯します。

加熱中は温度表示が徐々に上がり、100℃になると沸とうが完了します。（現在の水温）

25℃ ▶ 100℃

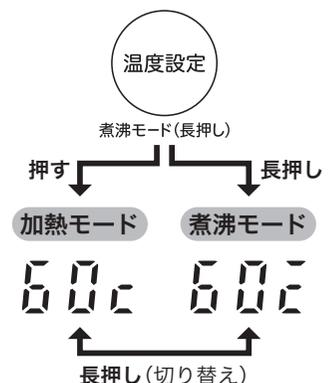
好みの温度で湯を沸かす（加熱モード・煮沸モード）

1

機能を選ぶ

- 加熱モード：《温度設定》ボタンを押す
- 煮沸モード：《温度設定》ボタンを長押しする

いずれかのモードを選択中に《温度設定》ボタンを長押しすると、加熱モードと煮沸モードが交互に切り替わります。



2 温度を調節する

現在の設定温度が表示されます。温度を変更しない場合は手順3に進んでください。
なにも操作しない状態で約3分たつと、待機状態に戻り、現在の水温が表示されます。

登録済み温度から選ぶときは

《温度設定》ボタンを押す

ボタンを押すごとに温度が切り替わります。60°C→70°C→80°C→85°C→90°C→95°C

1°C単位で温度を設定するときは

《+》ボタンまたは《-》ボタンを押す

《+》ボタンを押すと設定温度が上がり、《-》ボタンを押すと設定温度が下がります。
温度は60°C～100°Cまで、1°C単位で設定できます。

3 《スタート/取消》ボタンを押す

加熱が始まります。加熱中は《スタート/取消》ランプが点灯します。
加熱を中止するときは《スタート/取消》ボタンを押します。

おしらせ

- 加熱中に電源プレートからケトルを取り外すと加熱が停止します。再度加熱するときは、電源プレートにケトルをセットして操作しなおしてください。

加熱モード

25°C ▶ 95°C
(現在の水温) (設定温度)

煮沸モード

25°C ▶ 100°C ▶ 85°C
(現在の水温) (設定温度)

▶ 加熱中に設定温度を確認・変更するには

《温度設定》ボタンまたは《+》ボタン、《-》ボタンを押すと、現在の設定温度が表示されます。
設定温度を変更する場合は、続けて《温度設定》ボタンまたは《+》ボタン、《-》ボタンを押して設定温度を変更し、《スタート/取消》ボタンを押します。
設定温度を変更後、なにも操作しない状態で約10秒たつと、設定温度の変更は行わずに加熱状態に戻ります。

湯を注ぐ・保温する

1 沸とうまたは加熱が終わったら、湯を注ぐ

沸とうまたは設定した温度になるとブザーが鳴り、自動的にその温度で保温します。保温中は《スタート/取消》ランプが点灯します。《+》ボタンまたは《-》ボタンを押すと、温度表示と保温時間の残り時間表示を切り替えます。

- 沸とうモード：沸とうするとブザーが鳴ります。
- 加熱モード、煮沸モード：設定した温度になるとブザーが鳴ります。



ご注意

- お湯を注ぐ際にケトルを傾けすぎないでください。
お湯がこぼれてやけどの原因になります。

おしらせ

- 保温中に電源プレートからケトルを取り外すと保温が終了します。



▶ 保温を取り消すには

保温中に《スタート/取消》ボタンを押す

2

使い終わったら湯を捨てる

ご注意

- ふたを開けたときの蒸気や湯に充分ご注意ください。
やけどの原因になります。
- お湯を入れたまま放置すると、水あかが付着する原因になります。

▶ 保温時間を変更するには

沸とうまたは加熱後の保温時間を10分～1時間まで10分単位で設定できます。
お買い上げ時の設定は30分間です。

① 《+》ボタンと《-》ボタンを同時に長押しする

② 《+》ボタンまたは《-》ボタンを押す

《+》を押すと保温時間が長くなり、《-》を押すと保温時間が短くなります。

③ 《スタート/取消》ボタンを押す

保温時間が確定します。



▶ 保温中に設定温度を確認・変更するには

《温度設定》ボタンを押すと、現在の設定温度が表示されます。

設定温度を変更する場合は、続けて《温度設定》ボタンまたは《+》ボタン、《-》ボタンを押して設定温度を変更し、《スタート/取消》ボタンを押します。

設定温度を変更後、なにも操作しない状態で約10秒たつと、設定温度の変更は行わずに保温状態に戻ります。

▶ 次回使うときは(メモリー機能について)

本製品にはメモリー機能が搭載されています。前回使用時の設定温度と保温時間が記憶されるため、同じ設定で使用できます。

おしらせ

- 電源プラグをコンセントから抜くと、設定温度と保温時間設定がリセットされます。

お手入れ

ご注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本製品が冷えてからお手入れをしてください。高温部に触れ、やけどの原因になります。
- 電源プレートやケトルを丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、電源プレートに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- 食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。部品が変形し、故障の原因になります。

電源プレート

- 乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ります。
- 落ちにくい汚れは、柔らかい布に薄めた食器用中性洗剤を浸み込ませてよく絞ってから拭き取ります。その後、乾いた柔らかい布で水気と洗剤を拭き取ります。



ケトル

▶ ケトル外側のお手入れ

- 乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ります。
- 落ちにくい汚れは、柔らかい布に薄めた食器用中性洗剤を浸み込ませてよく絞ってから拭き取ります。その後、乾いた柔らかい布で水気と洗剤を拭き取ります。



▶ ケトル内側のお手入れ

- 水でよくすすいだ後、水気を切って乾燥させます。

ご注意

- ケトルの外側や底部をぬらさないでください。
感電・ショート・火災・故障の原因になります。
- ケトル内の温度センサーを傷つけないでください。
温度センサーに強い力を加えると、温度をうまく感知できないなど故障の原因になります。

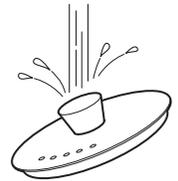
▶ ケトル内側の汚れが落ちにくいときは(クエン酸洗浄について)

- ケトル内側に白い汚れなどが付着する場合があります。これは水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が水あかとなったものですので身体に害はありません。気になる場合は以下の手順に従いお手入れをしてください。

- ① ケトルに水(0.8L)とクエン酸(30g：大さじ約2杯)を入れてよくかき混ぜる
- ② ふたを取り付けて沸とうさせ、その後1時間放置する
- ③ お湯を捨て、水でよくすすいでから水を切り、乾燥させる
 - においが気になる場合は、水のみを入れて再沸とうさせ、すすぎ洗いをしてください。

ふた

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いをします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかい布で水分を拭き取って乾燥させます。



保管のしかた

- お手入れした後はよく乾燥させ、包装ケースに収めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります。

よくあるご質問

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 作動しない。沸とう前に止まってしまう。

- | | | |
|----|--------------------------------|---|
| A1 | 電源プラグが抜けていませんか。 | 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| A2 | ケトルが電源プレートに正しくセットされていますか。 | ケトルを電源プレートの上に正しくセットしてください。 |
| A3 | ケトルおよび電源プレートに金属片やごみが付着していませんか。 | いったん電源プラグをコンセントから抜き、電源プレート接続部が冷えてからケトルの底面や電源プレート接続部に付着している金属片やごみを取り除いてください。 |
| A4 | 水が入っていない状態で運転を開始していませんか。 | 水が入っていない状態で空だきをすると、空だき防止機能が作動して、電源プレート接続部の加熱を一時的に停止します。いったん電源プラグをコンセントから抜き、ケトルと電源プレートの熱を十分に冷ましてから水を入れて、お湯を沸かしてください。 |
| A5 | 電源プレート、電源コード、ケトルが変形していませんか。 | 電源プレート、電源コード、ケトルが変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。 |

Q2 沸とうが止まらない。／沸とうしてもすぐに電源が切れない。

- A 本製品は、設定した温度になるとブザーが鳴り、設定した時間まで保温します。

Q3 注ぎ口や蒸気口からお湯がふき出る。

- | | | |
|----|-------------------------------|-------------------------------|
| A1 | 満水目盛(MAX 0.8L)より多く水を入れていませんか。 | 水量を満水目盛(MAX 0.8L)以下に減らしてください。 |
| A2 | ケトルに水以外のものを入れていませんか。 | 水以外のものを本製品で使用しないでください。 |

Q4 湯沸かし中の音がいつもより大きい。

- A ケトル内部に水あかなどが付着して汚れていませんか。
- 水あかなどの汚れがひどくなると、湯沸かし中の音が大きくなります。ケトルはお使いになるたびに必ずお手入れをしてください。汚れがひどい場合はクエン酸洗浄を行ってください。
- ▶「ケトル内側の汚れが落ちにくいときは(クエン酸洗浄について)」 **13ページ**

Q5 ふたが閉まらない。

- A ケトルが変形していませんか。
- ケトルが変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q6 ボタンをタッチしても反応しない。

- A1** ケトルを電源プレートから取り外していませんか。
- ケトルが電源プレートにセットされていないときはボタンは反応しません。ケトルを電源プレートに確実にセットしてからタッチしてください。
-
- A2** 表示部に「E01」または「E02」が表示されていませんか。
- 空だき防止機能が働くと「E01」、センサーに異常が発生した際に「E02」と表示部に表示されます。その場合は、いったん電源プラグをコンセントから抜いた後、再度加熱をしてください。
-
- A3** 次の場合は、ボタンが反応しないことがあります。
- ・素早く押したとき
 - ・指やボタンがぬれていたり、汚れているとき
 - ・指にばんそうこうや傷テープをしているとき

Q7 加熱できない。

- A** 加熱中に電源プレートからケトルを取り外していませんか。
- 加熱中に電源プレートからケトルを取り外すと加熱が停止します。再度加熱するときは、電源プレートにケトルをセットして操作しなおしてください。

Q8 沸とうしない。／加熱に時間がかかる。

- A** 設定温度が低い場合は沸騰しません。

Q9 水温表示が「100℃」になる前に沸とうする。

- A** 気圧によるものではありませんか。
- 気圧によって沸点が異なるので「100℃」以下で沸とうすることがあります。

Q10 設定した温度よりも水温表示が上がることもある。

- A** 水量が少ない状態ではありませんか。
- 水量が少ない状態で加熱すると、加熱完了後にヒーターの余熱で設定した温度よりも水温表示が上がる場合があります。水量は0.3L～0.8Lにしてください。

Q11 保温が停止する。

- A** 設定した保温時間が経過していませんか。
- 保温は最長1時間です。設定した保温時間が短いときは保温時間を変更してください。
 ➡「保温時間を変更するには」 **11ページ**

| よくあるご質問

Q12 加熱中に「カチッ」と音がする。

A 加熱や温度調節をしているときに断続的に「カチッ」と音がしますが、故障ではありません。

Q13 ケトル内側に赤さびや白い汚れが付着する。

A 水あかではありませんか。

水道水にはカルシウムなどのミネラル分が含まれており、加熱をするとミネラル分が水あかとなって付着します。水あかは時間が経過するほど落ちにくくなるため、ご使用後は毎回お手入れをしてください。

また、水あかが取れないときはクエン酸で洗浄することで取れやすくなります。

➡「ケトル内側の汚れが落ちにくいときは(クエン酸洗浄について)」**13ページ**

Q14 表示部に と表示される。

A 電源プレートからケトルを取り外していませんか。

電源プレートにケトルをセットすると元の表示に戻ります。

| エラー表示について

Q1 表示部に と表示される。

A ケトルに水が入っていない状態で加熱していませんか。

ケトルに水が入っていない状態で加熱すると、空だき防止機能が働いてブザーが鳴り、表示部に「E01」と表示されます。エラーが表示された場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ケトルに水を入れてからもう一度加熱してください。

Q2 表示部に と表示される。

A 本製品のセンサーに異常が発生した際に、表示部に「E02」と表示されます。一度電源プラグを抜いてしばらく時間をおいてから、再び接続して操作をしてください。それでもエラー表示が消灯しない場合は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

| 仕様

品名(型番)	温度調節電気ケトル(SK-D171)
電源	交流100 V、50/60 Hz
消費電力	900 W
質量(約)	0.98 kg (ケトル:595 g (ふた含む)、電源プレート:385g (電源コード含む))
外形寸法(約)	幅25.7 cm × 奥行21.8 cm × 高さ19.5 cm (ケトル:幅25.7 cm × 奥行14.2 cm × 高さ16.5 cm (ふた含む)、 電源プレート:幅16.5 cm × 奥行21.8 cm × 高さ4.9 cm)
電源コードの長さ(約)	1.2 m
ケトル容量	0.8 L
温度過昇防止装置	空だき防止機能、サーモスタット、温度ヒューズ
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| アフターサービス

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

—— 長年ご使用の製品の点検を! ——

- 定期的に「安全上のご注意」や「使用上のお願い」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様相談窓口

ご相談・ご依頼

修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

シロカサポートセンター

- ▶ 電話 **ナビダイヤル  0570-001-469**
- ※上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**
- ▶ 受付時間 **10:00 ~ 17:00**（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）
- おねがい**
- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
 - 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
 - サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。

- ▶ ホームページ <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

保証書

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、もしくはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

型番 ：SK-D171	ご購入日 ： 年 月 日
保証期間 ：お買い上げ日より本体1年間	製造番号 ：
お客様 ： ふりがな	販売店 ：店名・住所・電話
お名前	
ご住所	
お電話	※購入日を証明するレシートまたは送り状などを必ず添付してください。 証明がない場合、保証対象にならない場合があります。
シロカサポートセンター 電話：ナビダイヤル  0570-001-469 ※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800 受付時間：10：00～17：00 (弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください) ホームページ https://siroca.co.jp/	シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
<p>この保証書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。 お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき当社が無償修理いたしますので、商品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、もしくはサポートセンターまでご依頼ください。</p> <p>1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。(2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、塩害、輸送などによる故障または損傷。(3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。(4) 車両、船舶への搭載や、極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。(5) 一般家庭以外(例えば業務用など)で使用された場合の故障または損傷。(6) 本書のご提示がない場合。(7) 本機のご購入を証明するレシート等の証明書が無く、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。(8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。(かすり傷、へこみなどを含みます)(9) 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。(10) 腐食による故障、及び損傷(11) 故障の原因が本製品以外(電源など)にあって、それを点検、修理した場合。(12) フィルター、バッテリーなどの消耗品の場合。(13) 日本国外で使用された場合。 <p>2. お買い上げ店などへご持参いただく際の交通費、サポートセンターへご送付いただく際の送料、諸掛りはおお客様のご負担となります。</p> <p>3. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。</p> <p>4. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。</p> <p>5. 本書に基づく無償修理(製品交換を含みます)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。</p> <p>6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。</p> <p>7. 本製品のご使用や、本製品の故障に起因する付随的損害については、弊社では一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用により生じたその他の機器損害に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用、または使用不能から生じる付随的な損害に対し、弊社では一切の責任を負いかねます。</p> <p>8. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。</p> <p>9. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.</p> <p>この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。</p>	

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



部品・消耗品
ご購入
siroca.jp